

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2005 年 1 月 13 日 (13.01.2005)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 2005/003769 A1

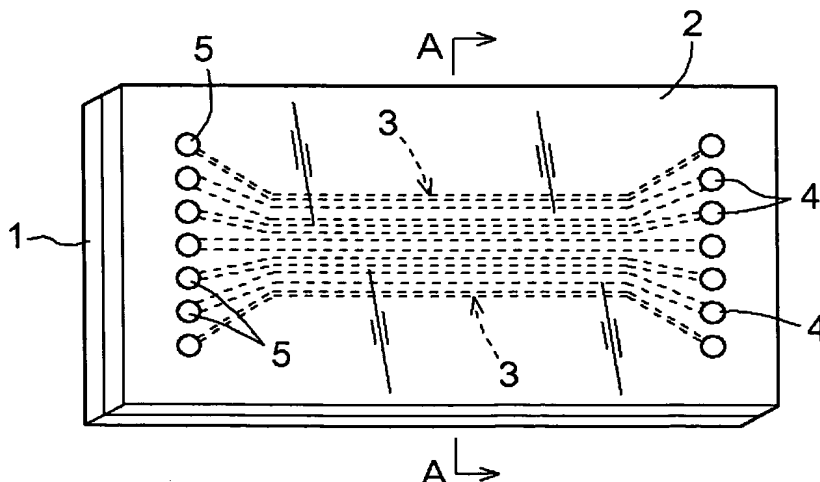
- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: G01N 33/53,  
37/00, C12N 15/09, C12M 1/00
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2004/009423
- (22) 国際出願日: 2004 年 7 月 2 日 (02.07.2004)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願2003-271085 2003 年 7 月 4 日 (04.07.2003) JP  
特願2003-271084 2003 年 7 月 4 日 (04.07.2003) JP  
特願2004-021420 2004 年 1 月 29 日 (29.01.2004) JP  
特願2004-147993 2004 年 5 月 18 日 (18.05.2004) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社クボタ (KUBOTA CORPORATION) [JP/JP]; 〒5568601 大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番 4 7 号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 倉根隆一郎 (KURANE, Ryulchiro) [JP/JP]; 〒3010852 茨城県龍ヶ崎市向陽台五丁目 6 番 株式会社クボタ環境エンジニアリング事業本部バイオセンター内 Ibaraki (JP). 島山明夫 (TORIYAMA, Akio) [JP/JP]; 〒6618567 兵庫県尼崎市浜一丁目 1 番 1 号 株式会社クボタ 本社阪神事務所内 Hyogo (JP). 江崎聡 (EZAKI, Satoshi) [JP/JP];

- 〒3010852 茨城県龍ヶ崎市向陽台五丁目 6 番 株式会社クボタ環境エンジニアリング事業本部バイオセンター内 Ibaraki (JP). 古和田浩光 (KOWADA, Hiromitsu) [JP/JP]; 〒3010852 茨城県龍ヶ崎市向陽台五丁目 6 番 株式会社クボタ環境エンジニアリング事業本部バイオセンター内 Ibaraki (JP). 白岩由紀 (SHIRAIWA, Yuki) [JP/JP]; 〒3010852 茨城県龍ヶ崎市向陽台五丁目 6 番 株式会社クボタ環境エンジニアリング事業本部バイオセンター内 Ibaraki (JP).
- (74) 代理人: 北村修一郎 (KITAMURA, Shuichiro); 〒5310072 大阪府大阪市北区豊崎五丁目 8 番 1 号 Osaka (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE,

[続葉有]

(54) Title: BIO-CHIP

(54) 発明の名称: バイオチップ



(57) Abstract: An organism-related molecule bio-chip in which an organism-related molecule is carried between a first member (1) and a second member (2), wherein one of the first member (1) and the second member (2) has a plurality of grooves formed in parallel in the face contacting the other member, to thereby provide a plurality of spaces as reaction regions.

(57) 要約: 第 1 部材 (1) と第 2 部材 (2) との間に生体関連分子を担持する生体関連分子バイオチップであって、第 1 部材 (1) もしくは第 2 部材 (2) の何れか一方において、他方の部材に対する接触面に複数の溝を並列形成し、反応領域となる空間を複数設

けてある。



IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

— 国際調査報告書